

農業水利施設の省エネルギー化推進対策の概要

施策の目的

農業水利施設は、食料の安定供給や国土の保全等の機能を有する公共・公益性の高いインフラであるが、維持管理費に占める電気料金の割合が大きく、電気料金高騰による影響を受けやすい。農業水利施設の省エネ化を進め、エネルギー価格高騰の影響を受けにくい農業水利システム（管理手法、設備）への転換を促すとともに、エネルギー価格高騰による影響を緩和し、農業水利施設の機能の安定的な発揮を図る。

施策の概要

「基幹水利施設管理事業」、「水利施設管理強化事業」において、省エネルギー化推進計画に基づき、農業水利施設の省エネ化及びコスト削減に取り組む施設管理者に対し、補助金を交付。

支援内容

1 趣旨

エネルギー価格高騰の影響を受けにくい農業水利システムへの転換を促すため、**省エネルギー化に取り組む施設管理者に対し、エネルギー価格高騰分の7割**を支援します。

2 支援対象施設

- ① 基幹水利施設管理事業又は水利施設管理強化事業の対象施設
- ② 維持管理に占める電気料金及び諸油脂費の割合が**25%以上**の施設管理者が管理する施設

3 事業実施要件

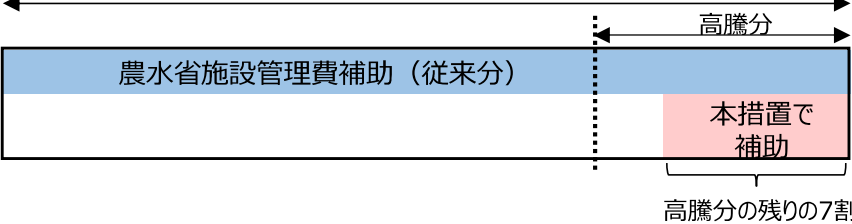
- ・ 省エネルギー化推進計画の策定
- ・ 省エネルギー化・コスト削減の取組メニューの中から**原則2つ以上**を実施

4 補助率 定額

$$\text{交付額} = \text{エネルギー価格} \times \text{高騰分} \times 0.7$$

※電気料金及び諸油脂費

施設にかかる電気料金



5 支援期間

- ・ 令和6年9月まで
(かんがいの電力消費のピークを過ぎる9月末をもって本支援を終了)

省エネ化・コスト削減の取組メニューの例

区分	省エネ化	コスト削減
ソフト対策	- ポンプの吸込／吐出水位の見直し - 大口径ポンプの優先使用 - 無効送水の節減 - 節水による送水量の削減等	- 電力契約の適正化 - ポンプの同時運転台数の削減 等
ハード対策	- 電動機制御方式の見直し（インバータ制御の導入） - 高効率モーターへの更新等	コンデンサ設置による力率の改善等

